









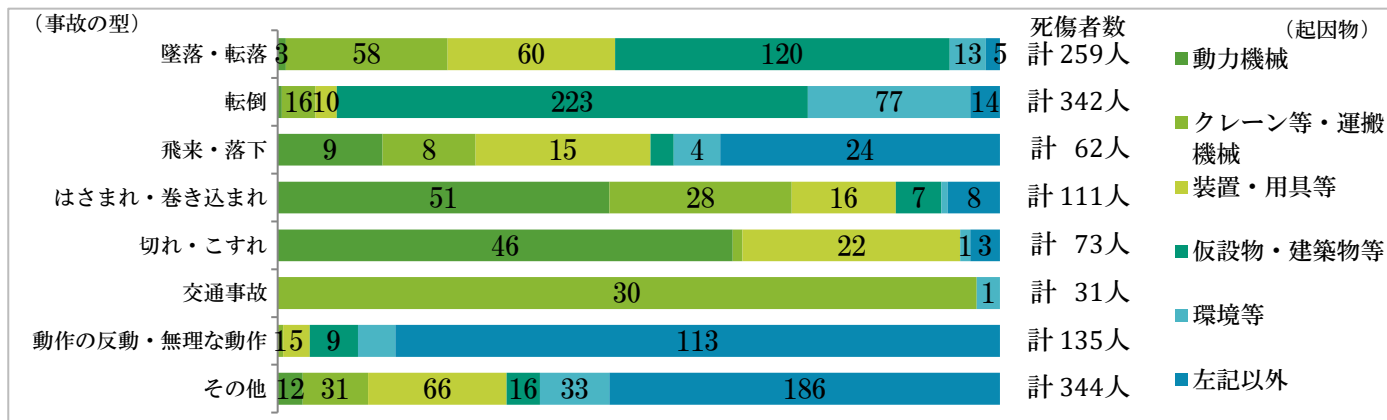




## 6 事故の型・起因物別発生状況

最も死傷者数が多い「転倒」災害では、作業床、通路などを含む「仮設物、建築物、構築物」に起因するものが223人となり、次いで多い「墜落・転落」災害でも「仮設物、建築物、構築物」に起因するものが120人となっている。この2つの事故の型の「仮設物、建築物、構築物」の合計は343人となり、全体の比率は、25.3%を占める。この他、「墜落・転落」災害のトラックを含む「クレーン等・運搬機械」に起因するものが58人、はしご等を含む「装置・用具等」に起因するものが60人、「はさまれ・巻き込まれ」災害の各種機械を含む「動力機械」が51人、「動作の反動・無理な動作」災害では、腰痛、関節捻挫等を含む「起因物なし」に分類されるものが99人となった。

図7 事故の型・起因物別発生状況、発生割合（100%表示）



## 7 年齢別発生状況

「50歳代」、「60歳以上」の死傷者数は、合計747人となり、前年よりも129人増加し、全体の55.0%を占め、依然として過半数を超えている。旅館業、小売業、社会福祉施設では、50歳以上の死傷者数の占める割合が60%を超え、高齢労働者の災害発生率が高くなっている。

図8 年齢別発生状況

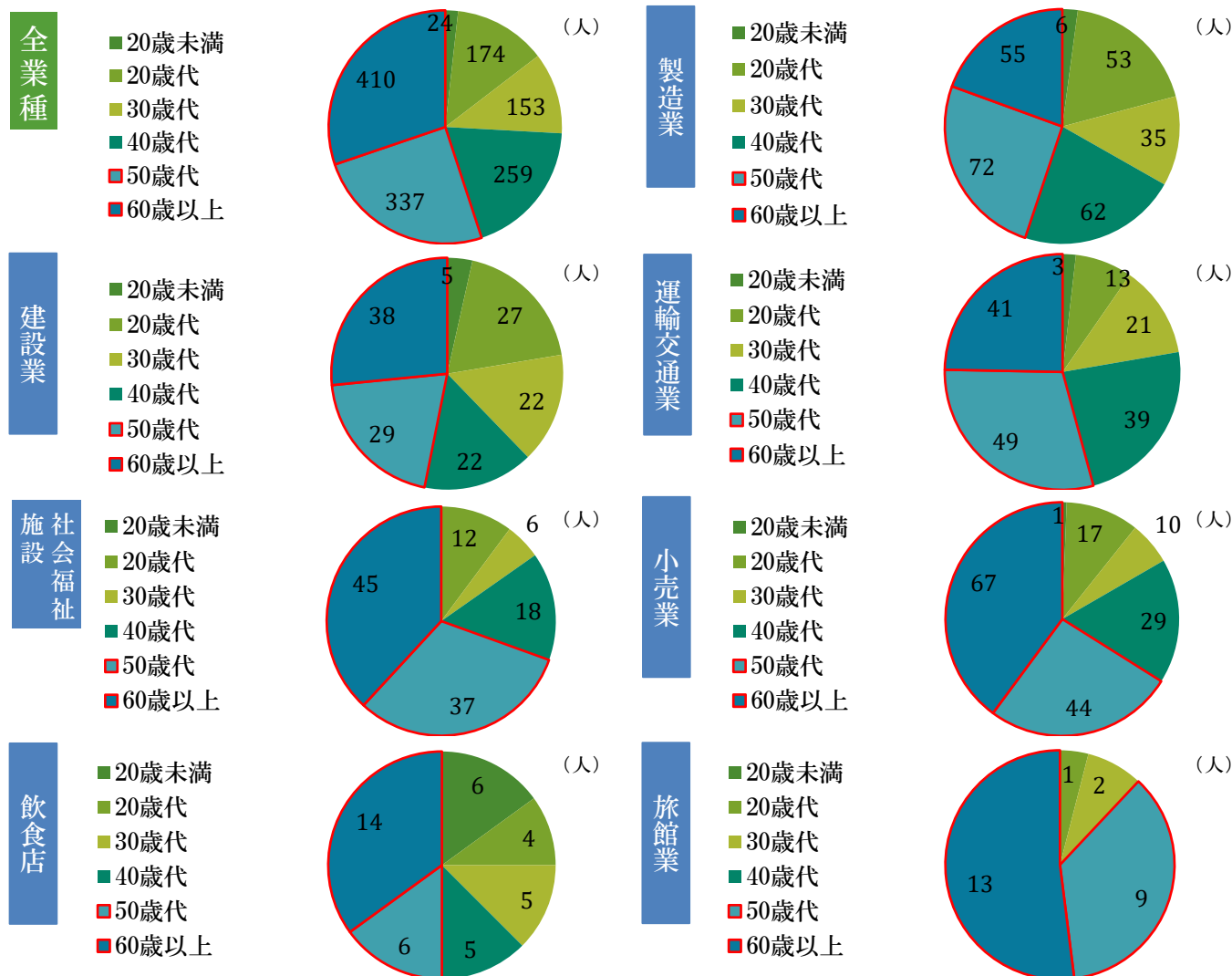
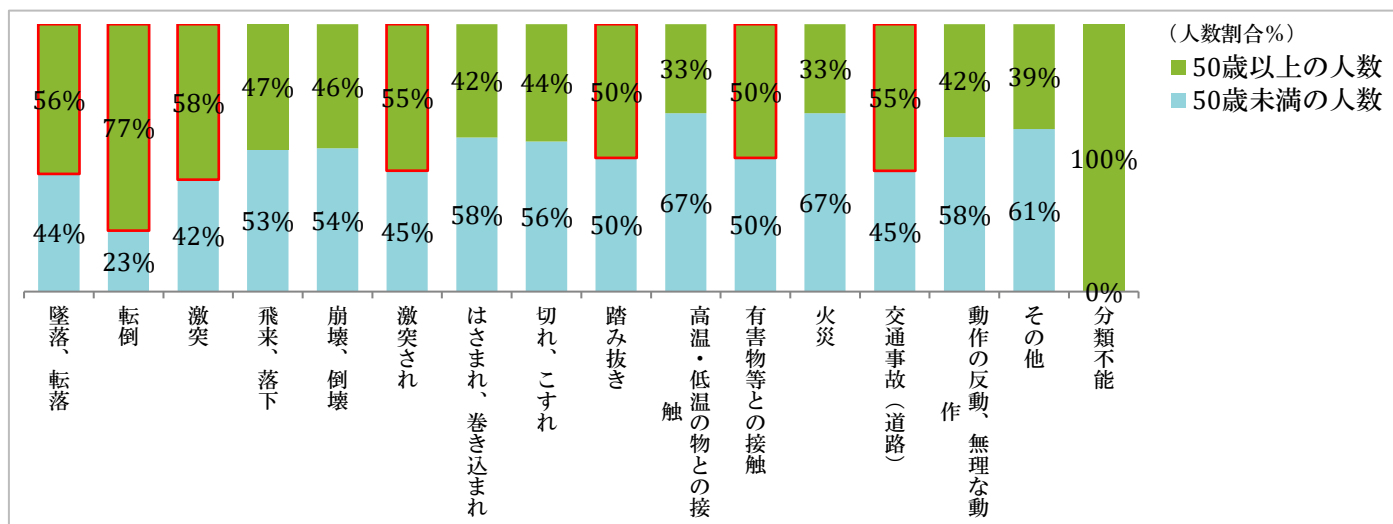


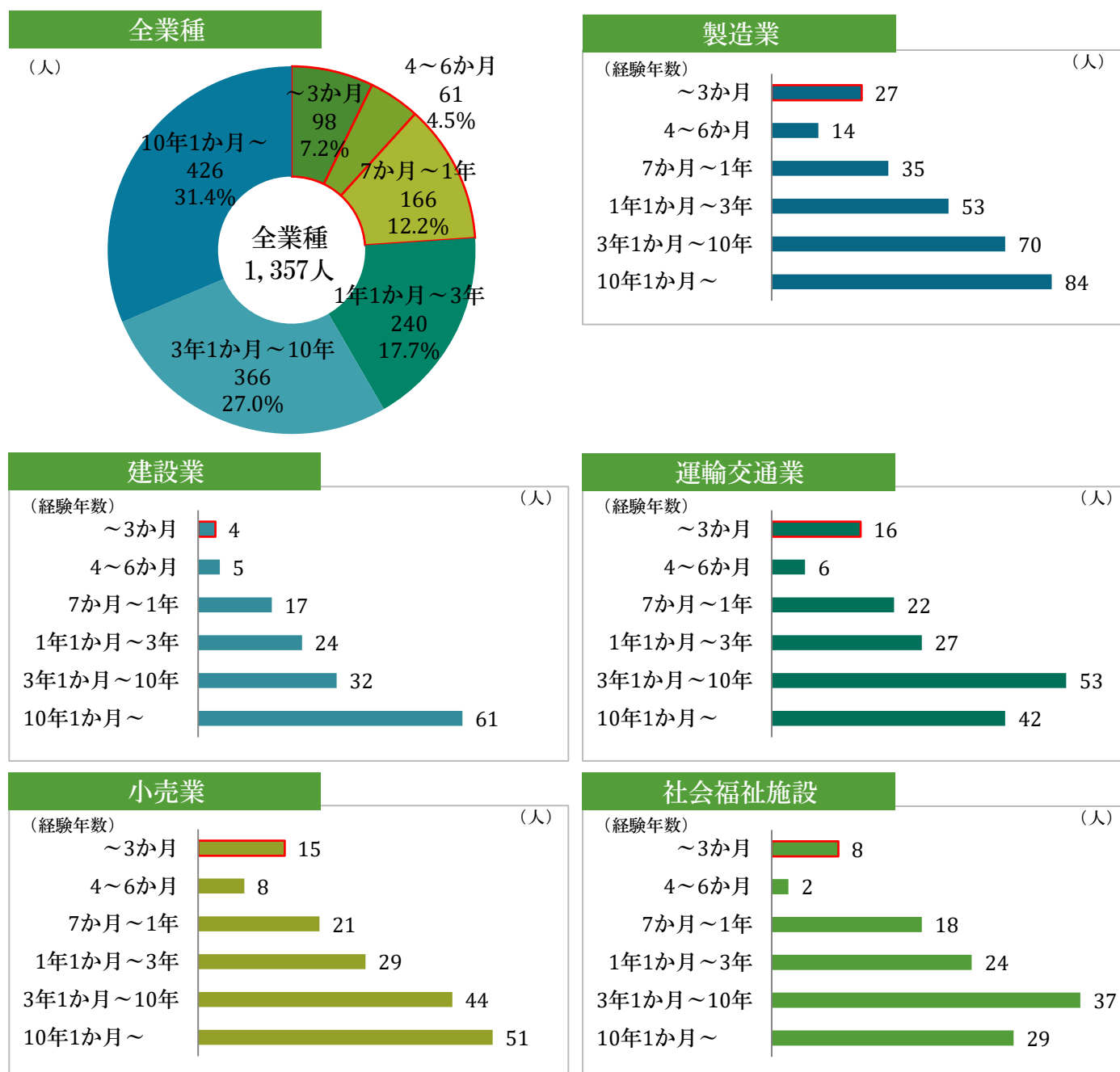
図9 事故の型別 全体に占める50歳以上の被災労働者数の割合



## 8 主要業種別経験年数別発生状況

経験年数別に見ると経験が1年以下の被災者数は、全体の23.9%を占め、昨年より4.2%減少した。また、業種を問わず「3年1か月から10年以下」の中堅労働者、「10年1か月以上」の熟練労働者の災害が多く発生し、全体の58.4%を占めており、その内、50歳以上の労働者の災害比率は64.5%となっており、発生率が高くなっている。

図10 業種別 経験年数別の労働災害発生状況





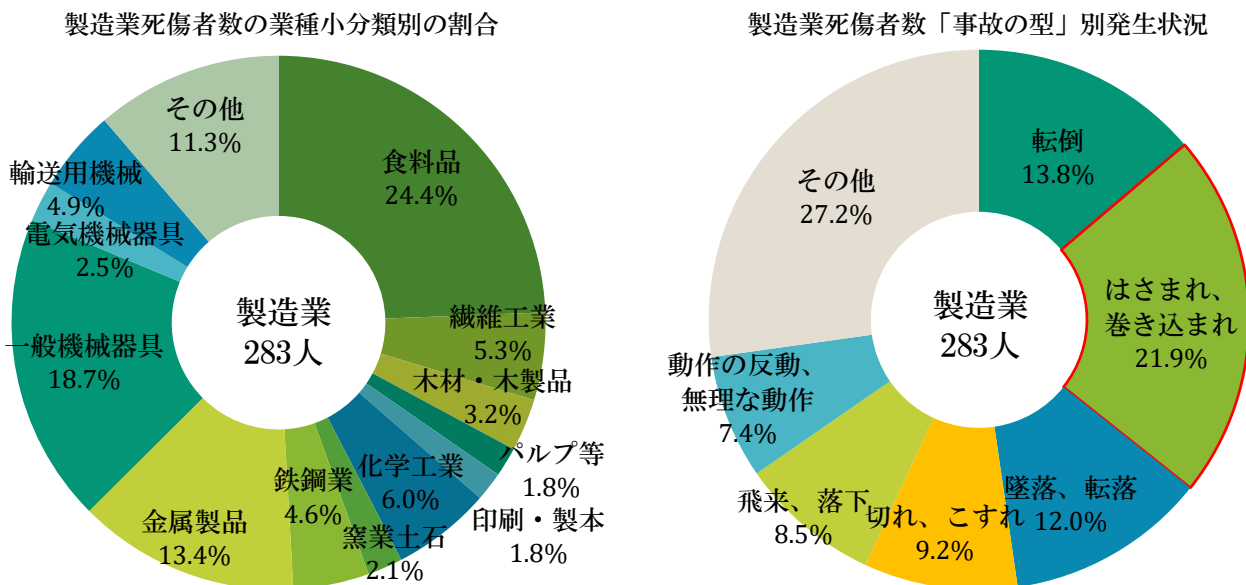
## 9 主要業種別事故の型別発生状況

### 製造業

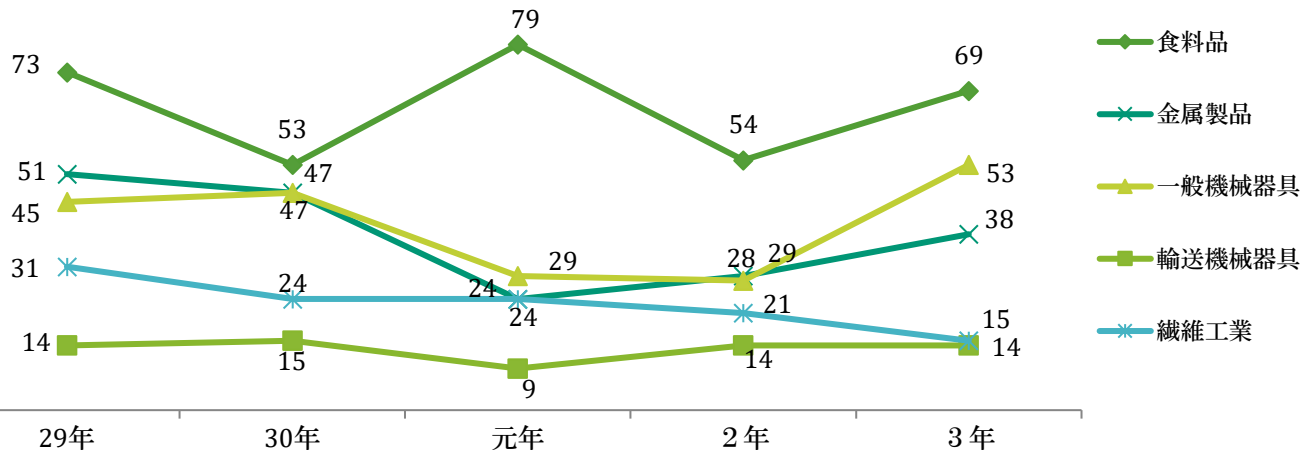
製造業の小分類別では、食料品製造が69人(24.4%)と最も多く、前年よりも15人増加した。次いで、一般機械器具製造業が53人(18.7%)、金属製品が38人(13.4%)、化学工業が17人(6.0%)となっている。死亡災害は、前年の2人から0人に減少した。

事故の型別では、動力機械等の「はさまれ・巻き込まれ」災害が62人(21.9%)と最も多く、次いで作業床、通路等での「転倒」災害が39人(13.8%)となっている。

図11 製造業における労働災害発生状況



製造業の主な業種の発生状況（年推移）

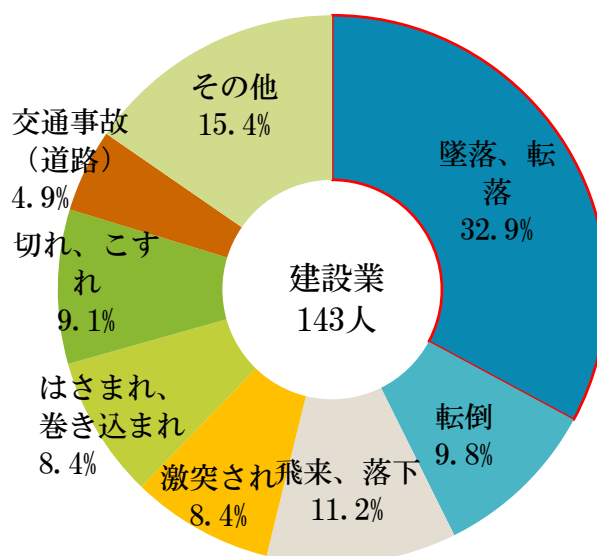


### 建設業

事故の型別では、高所等からの「墜落・転落」災害が47人(32.9%)と最も多く、次いで「飛来、落下」災害が16人(11.2%)、「転倒」災害が14人(9.8%)、「切れ、こすれ」災害が13人(9.1%)、「はさまれ・巻き込まれ」災害が12人(8.4%)となった。

また、死亡者は3人で、「墜落・転落」災害、「はさまれ・巻き込まれ」災害、「交通事故」によるものであった。

図12 建設業死傷者数「事故の型」別発生状況

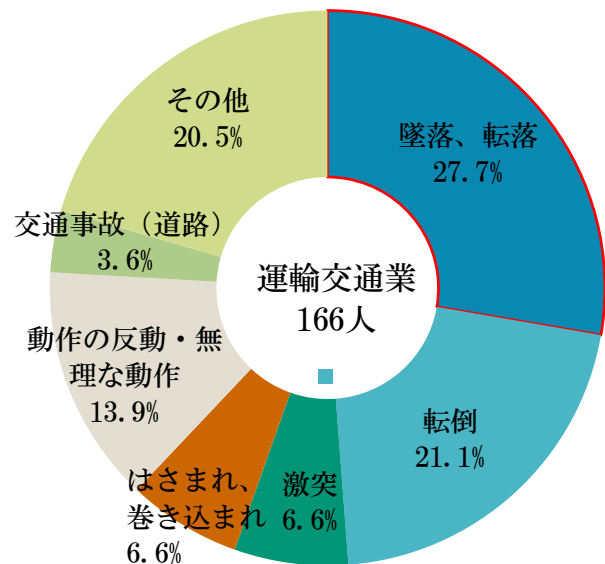


### 運輸交通業

事故の型別では、トラック荷台等からの「墜落・転落」災害が46人（27.7%）と最も多く、次いで、通路、作業床に起因する「転倒」災害が35人（21.1%）「動作の反動・無理な動作」災害が23人（13.9%）となっている。

なお、死亡災害は発生していない。

図13 運輸交通業死傷者数「事故の型」別発生状況

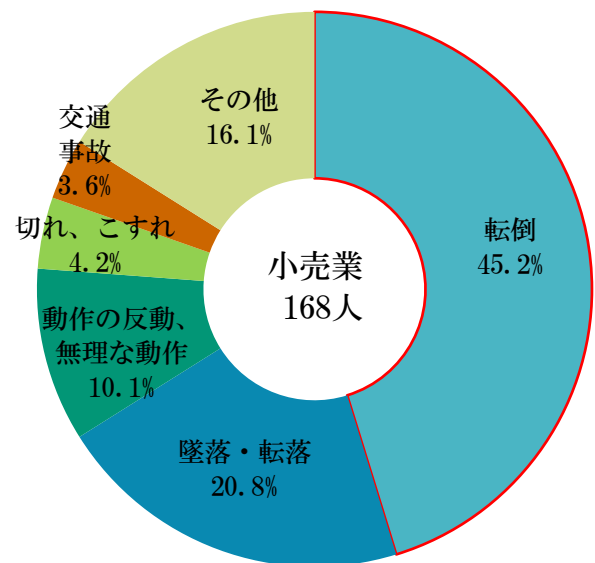


### 小売業

事故の型別では、作業床、通路等に起因する「転倒」災害が76人（45.2%）と最も多く、次いで、階段、脚立、トラック等からの「墜落・転落」災害が35人（20.8%）、「動作の反動・無理な動作」災害が17人（10.1%）となっている。

なお、死亡災害は発生していない。

図14 小売業死傷者数「事故の型」別発生状況

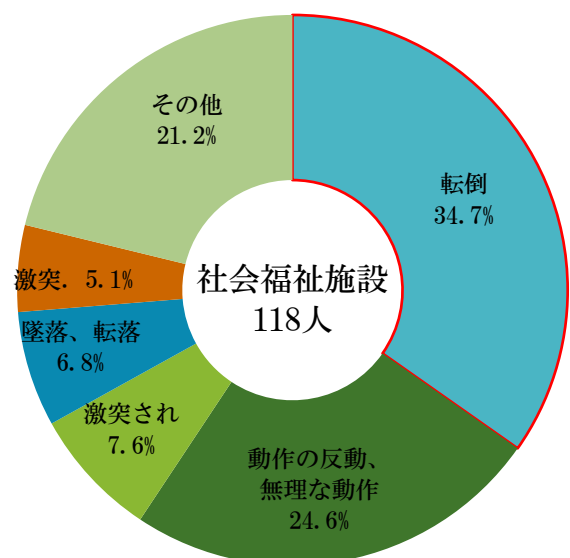


### 社会福祉施設

事故の型別では、作業床、通路等に起因する「転倒」災害が41人（34.7%）と最も多く、次いで、介護作業、荷姿の物などを起因とする腰痛等の「動作の反動・無理な動作」災害が29人（24.6%）となっている。

なお、死亡災害は発生していない。

図15 社会福祉施設死傷者数「事故の型」別発生状況



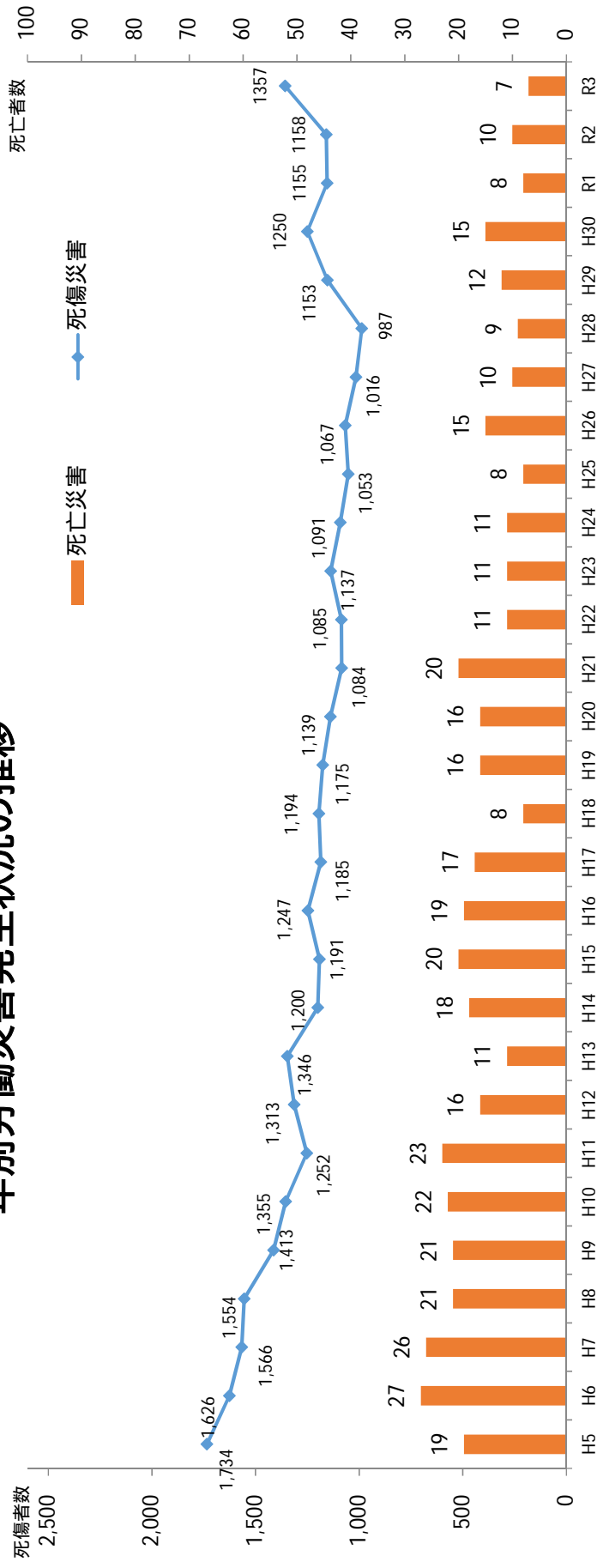
## 【石川労働局における第13次労働災害防止計画】H30～R4年

○死亡災害の撲滅を目指して、12次防と比較して、13次防の労働災害による死亡者の合計数を15%以上減少させる。 具体的には、平成30年から令和4年までの死亡者数を45人以下とする。

【平成25年から平成29年までの死亡者数54人】平成30年～令和3年の死亡者数 40人（目標達成には、令和4年の死亡者数を5人以下にする必要がある）。

○死傷者数について、12次防の最少の年（平成28年）と比較して、令和4年までに休業4日以上の労働災害による死傷者の数を5%以上減少させる。 具体的には、平成28年の987人から5%以上減少させ、令和4年の死傷者数を937人以下とする。 令和3年の死傷者数 1,357人（目標値より420人多い）

### 年別労働災害発生状況の推移



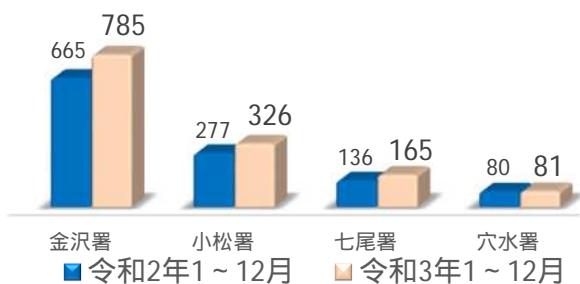
令和3年 労働災害発生状況（確定値）

前年同月比： 199人 17.2%

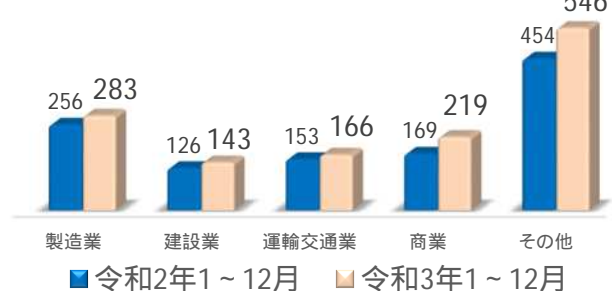
石川 労働 局

業種別	年別 死傷者数	合計		前年同月比			労働基準監督署別																
		3年		2年		前年同月比	金沢署		小松署		七尾署		穴水署										
		死亡	死傷	死亡	死傷		死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷									
		死亡	死傷	死亡	死傷	増減率	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷									
<b>総計</b>		<b>7</b>	<b>1,357</b>	10	1,158	3	199	17.2%	<b>3</b>	<b>785</b>	6	665	<b>1</b>	<b>326</b>	1	277	<b>2</b>	<b>165</b>	3	136	<b>1</b>	<b>81</b>	80
製造業	食品	69	54	15	27.8%	43	29	15	7	7	4	3											
	繊維工業	15	21	6	28.6%	4	7	6	9	3	3	2											
	衣服その他繊維	1	4	3	75.0%			1	1	1		2											
	木材・木製品	9	7	2	28.6%	3	1	3	2	2	3	1											
	家具・装備品	2	7	5	71.4%	1	3	1	4														
	パルプ等	5	1	6	16.7%	4	1	5	1			1											
	印刷・製本	5	7	2	28.6%	5	3		4														
	化学工業	17	10	7	70.0%	6	4	5	5	6	1												
	窯業土石	6	10	4	40.0%	1		1	3	3	4	1											
	鉄鋼業	13	6	7	116.7%	5	3	4		4	3												
	非鉄金属	2	1	1	100.0%	1	1			1													
	金属製品	38	29	9	31.0%	21	17	12	6	4	4	1											
	一般機械器具	53	28	25	89.3%	22	14	26	10	5	2	2											
	電気機械器具	7	21	14	66.7%	2	5	4	12	2	2	1											
	輸送用機械	14	14	0	0.0%	4	4	7	9	1		2											
	電気・ガス	4	2	2	100.0%	4	1				1												
その他の製造業	23	1	29	1	6	20.7%	10	1	18	10	8	3	1		2								
計	283	2	256	2	27	10.5%	136	2	115	95	88	40	33	12	20								
鉱業	1	3	2	1	1	50.0%	1	2	1					1	1								
建設業	土木工事	1	40	1	37	0	3	8.1%	18	1	10		8	11	3	9	1	11	7				
	木造家屋建築	1	35	29	1	6	20.7%	19	15	7	6	1	6	7	3	1							
	建築工事	1	82	65	1	17	26.2%	55	36	10	14	1	12	12	5	3							
	その他の建設業	1	21	1	24	0	3	12.5%	11	19	1	6	2	2	1	2	1						
計	3	143	2	126	1	17	13.5%	84	1	65	1	24	27	1	17	1	23	1	18	11			
運輸交通業	鉄道等	21	2	19	950.0%	3	1			17				1	1								
	道路旅客	13	8	5	62.5%	12	5		1	1	1												
	道路貨物運送	132	1	141	1	9	6.4%	98	1	110	23	20	6	7	5	4							
	その他の運輸交通業		2	2	100.0%		1									1							
計	166	1	153	1	13	8.5%	113	1	117	23	21	24	8	6	7								
貨物取扱業	5	9	4	44.4%	5	7			2														
農林業	農業	13	12	1	8.3%	9	7	2	4					2	1								
	林業	1	19	1	5	35.7%	3	3	4	1	1	6	7	6	3								
計	1	32	26	1	6	23.1%	12	10	6	5	1	6	7	8	4								
畜産・水産業	15	17	2	11.8%	3	2			7	7	5	8											
商業	卸売業	2	34	35	2	1	2.9%	2	28	25	4	4	2	6									
	小売業	168	119	49	41.2%	107	79	37	24	17	10	7	6										
	理美容業	1	2	1	50.0%	1	2																
	その他の商業	16	13	3	23.1%	13	9	3	3		1												
計	2	219	169	2	50	29.6%	2	149	115	44	31	19	17	7	6								
サービス業	金融広告業	14	19	5	26.3%	10	12	4	5			1		1									
	映画・演劇業	1		1		1																	
	通信業	26	26	0	0.0%	18	17	5	5	2	1	1	3										
	教育研究	32	18	14	77.8%	17	9	9	4	1	4	5	1										
	社会福祉施設	118	100	18	18.0%	64	60	23	23	19	7	12	10										
	保健衛生業	213	1	147	1	66	44.9%	105	1	82	69	43	26	10	13	12							
	旅館業	25	26	1	3.8%	5	6	13	14	6	5	1	1										
	飲食店	40	37	3	8.1%	32	22	5	10	3	4		1										
	接客娯楽	86	76	10	13.2%	48	37	25	25	11	12	2	2										
	清掃・と畜	55	48	7	14.6%	45	31	4	9	5	6	1	2										
官公署	1		1				1																
その他の事業	63	4	66	4	3	4.5%	37	1	45	17	1	12	7	2	7	2	2						
計	2	710	5	569	3	141	24.8%	2	430	2	348	178	1	134	71	2	58	31	29				

署別発生状況（前年同月比）



業種別発生状況（前年同月比）



## いしかわ4S + 活動の展開（転倒災害防止）

### ● 4S活動

整理、整頓、清掃、清潔の4S活動により、労働災害の発生要因を未然に見つけ出すことなどの安全面の効果が期待できるとともに、作業効率の向上、誤操作・誤動作の減少、モラルや品質・環境面の水準向上等により生産性の向上も期待できます。

### ● + 活動（企業の独自性による追加も可能）

職場にストレッチを導入します。

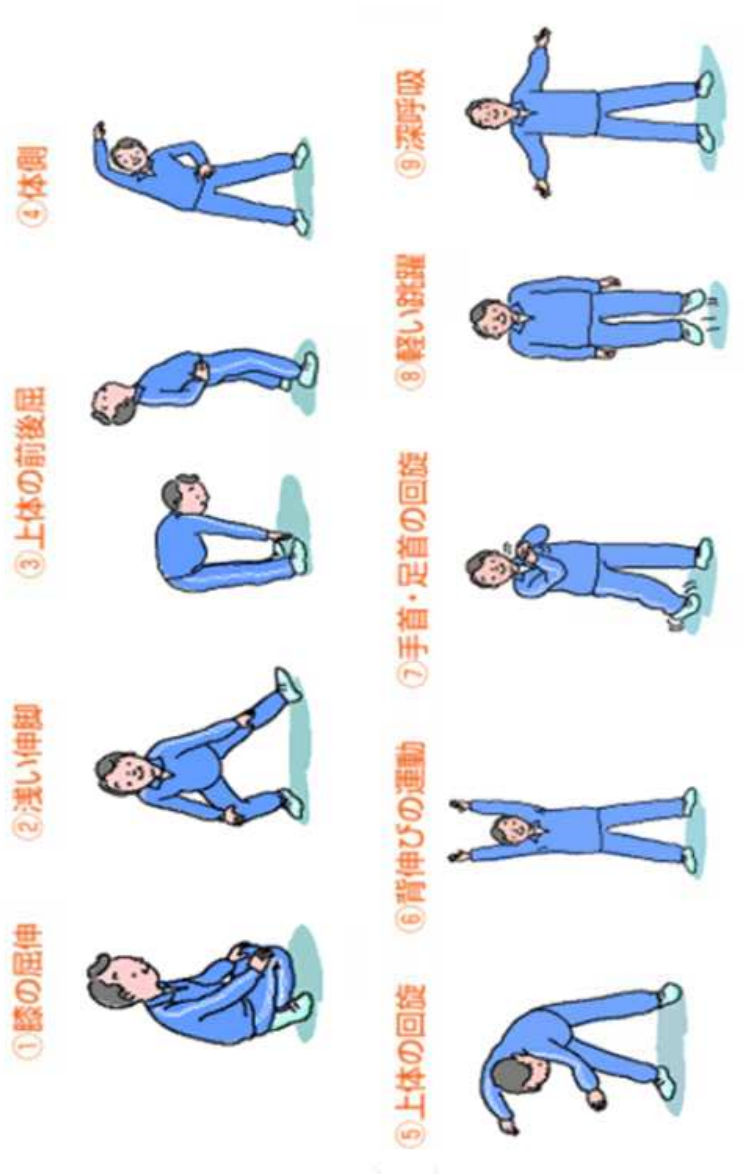
始業前や作業の休憩時に体をほぐし、柔軟性を持たせることで、危険への咄嗟の対応やケガの起こりにくい体づくりが可能となり、作業効率の向上等による生産性の向上も期待できます。冬季（12月～2月）はスノー対策を追加します。

# 4S + ストレッチ

## • 4S活動

- 整理 必要な物と不要な物を分けて、不要な物を処分する。
- 整頓 必要な時に必要な物をすぐ取り出せるように配置する。
- 清掃 身の回りをキレイにしてゴミや汚れを取り除く。
- 清潔 整理、整頓、清掃を繰り返し、快適な状態を維持する。

## • ストレッチ



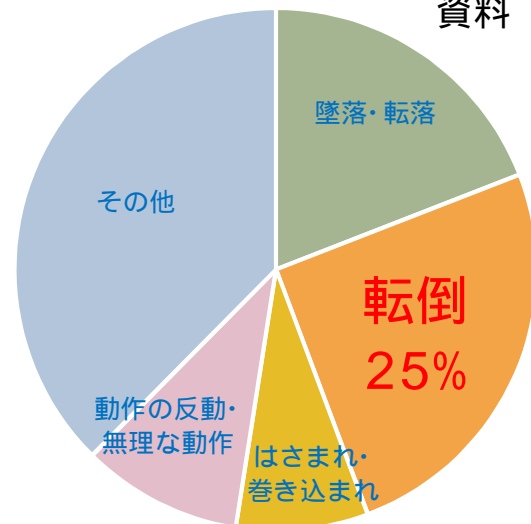
# いしかわ4S +

2022 運動展開中！！

## 1S 整理

必要な物と不要な物に分けて、不要な物を処分する。

R 3 労働災害 1,357 件



## 2S 整頓

必要な時に必要な物をすぐ取り出せるように配置する。

## 3S 清掃

身の回りをキレイにしてゴミや汚れを取り除く。

## 4S 清潔

整理、整頓、清掃を繰り返し、快適な状態を維持する。

## + 1 ストレッチ

カラダをほぐして柔軟性を高める。

## + 2 スノー

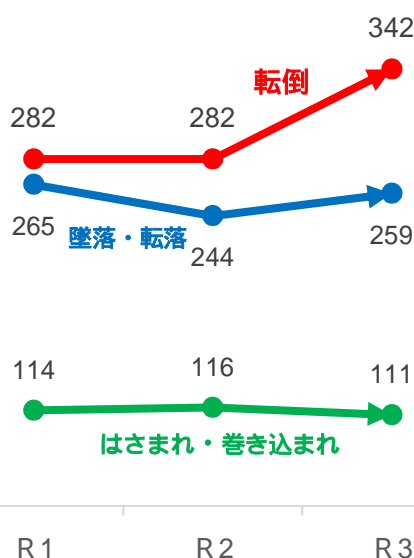
冬季の転倒災害を防止する。

ひとくらし、みんなのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

石川労働局労働基準部健康安全課



## いしかわ4S + チェックリスト

いしかわ4S + の担当者が定められ、周知されていますか？

日常使用するものは、すぐに取り出せ、元の位置に戻せる状態ですか？

作業箇所、作業台、デスク周りの空間は確保されていますか？

使用しない物は、廃棄していますか？

作業箇所、通路は汚れていませんか？

安全な通路を確保し、色別や白線で表示していますか？

床や通路の凸凹は補修または保護カバーをしていますか？

階段の滑り止めは外れていませんか？

作業に適した履物を使用していますか？

安全な踏み台、はしご、脚立は整備されていますか？

通路や階段などは必要な明るさが確保されていますか？

スイッチ、消火器、非常口の前に物が置かれていませんか？

物のはみ出しや頭上に障害物はありませんか？

作業服は指定のもの、清潔なものを正しく着用していますか？

作業に応じた必要な保護具を正しく着用していますか？

始業前に膝の屈伸、浅い伸脚、上体の前後屈をしていますか？

休憩時に上体の回旋、背伸び、深呼吸をしていますか？

冬季の積雪や凍結による転倒災害防止対策を実施していますか？

厚生労働省では「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しています。  
具体的な対策はこちらをチェック！

